

令和3年産 JA米基準 美味しいあおば米 コシヒカリの栽培こよみ

あおば農業協同組合 各地区農業技術者協議会

今年度の重点対策 ①珪酸質資材、堆肥の継続施用 ②5月15日を中心とした田植え ③出穂後20日間の湛水管理 ④カメムシ防除の徹底 ⑤栽培記録・GAPの確実な実践

栽培基準を定めた生産履歴をしっかりと

収量構成の目標

収量構成	目標値
目標収量(kg/10a)	540
m ² 当たり穂数(本)	400
平均一穂粒数(粒)	70
m ² 当たり全粒数(百粒)	280
登熟歩合(%)	87
玄米千粒重(g)	22.5

平坦地の田植えは5月15日を中心に

植付けの目安
株数:70株
本数:3~4本
深さ:3cm程度

田植(5月15日中心)

刈取判定の目安

一穂の熟色で刈取適期を判定
1穂ごとのめやす(穂内の平均的な穂)

生育期	育苗期	活着期	有効分げつ期	無効分げつ期	幼穂形成期	穂ばらみ期	登熟期	収穫
水管理	やや深水	浅水管理	溝掘り	中干し期間	間断かん水	飽水	湛水	間断かん水
月日	4月25日	5月5日	5月15日	5月25日	6月5日	6月15日	6月25日	7月5日

管理のポイント

- 珪酸質資材の施用と深耕
- 田面は均平にする
- 代かきは練りすぎない
- 土壌に応じた適正な施肥
- 播種は25日を中心にする
- 田植(15日を中心)
- 苗箱施肥の実施
- 除草剤は遅れずに散布
- 活着後は3cm程度の浅水管理
- やや深水で保温
- 中干し後は間断かん水を徹底
- 畦畔、農道等の草刈りの徹底
- 幼穂形成期から飽水管理
- 出穂後の湛水管理に備え田面を固める
- 中干し、間断かん水により、しっかりと根づくりを行う
- 出穂後20日間は十分な湛水状態を保つ

病害虫防除

種子消毒	育苗カビの予防	苗箱施肥	1回目	2回目	傾穂期	随時
モミガードC水和剤 水20ℓに100g使用する 24時間消毒で1回のみ使用可 最初に種粒をよくゆする 消毒後は水洗いしない	ナエファインフロアブル 播種時処理の場合 1,000倍液で1箱500m ² かん注 (水100ℓに1本100m ² で苗箱200枚分)	イネミズソウムシ・イネドロオウムシ・イナゴ類 ニカメイチュウ・白葉枯病・いもち病・紋枯病 ルーチンブライト箱粒剤 1箱当たり50gを確実に施用 播種時(覆土前)~移植当日	いもち病・稲こうじ・変色米 ノンプラス粉剤DL アミスターエイト(紋枯病も登録あり) 紋枯病 モンカットファイン粉剤20DL バシタックゾル	いもち病・カメムシ類・ウンカ類 ビームスタークル 粉剤5DL 10aに4kg ビームエイトスタークルゾル(1,000倍液) 10aに100~150ℓ散布	カメムシ類・ウンカ類・ツマグロヨコバイ キラップ 粉剤DL 10aに4kg キラップフロアブル(1,000倍液) 10aに100~150ℓ散布	カメムシ類・ウンカ類 スタークル粉剤DL スタークル液剤10 トレボン粉剤DL トレボン乳剤

土壌に応じた適正な施肥

土壌区分	一発肥料	分施肥体系		
		基肥	穂肥①	穂肥②
沖積	SL(砂壤土) L(壤土) CL(埴壤土)	32~36 27~33 23~27	32~36 25~30 20~25	10 10 10
洪積	赤土(SL)黒ボク	27~30 32~36	25~30 32~36	10 10

除草剤は適期に散布(使用量、使用時期、使用方法を誤らない事)

田植	田植後
初期剤 + 中期剤 かねつく粒剤 1kg (移植直後~ノビE1.5葉期、但し移植後5日まで)	レプラス粒剤・ジャンボ (移植後14日~ノビE4葉期、収穫60日前まで) ワイドショット粒剤 (移植後15日~ノビE4葉期、収穫45日前まで) 注1 マメットSM粒剤 (移植後15日~稲5葉期以降~ノビE3.5葉期、収穫60日前まで) 注1 15℃以下または30℃以上の場合は使用を避ける
田植同時兼用剤 エンペラー粒剤 1kg (移植後0~5日)	キクトモ粒剤 ゼータタイガー粒剤・ジャンボ ポデーガードプロジャンボ エンペラー豆つぶ (移植後5~12日)
初中期一発処理剤	後期剤 ヒエ、広葉雑草が残った場合 トドメバスマF液剤 広葉雑草が残った場合 バサグラン粒剤 クサネム・イボクサが残った場合 ノミニー液剤 ヒエが残った場合 トドメMF粒剤・乳剤 ヒエクリーン豆つぶ

田植同時兼用剤は雑草の状況を見て中期剤や後期剤を散布!

※留意点: やや深めに水を張って、散布後7日間は落水やかけ流しをしない

品質・食味に差がでる土づくり

「土づくり」の3ポイント

- 珪酸質資材100kgを目標に継続的な施用
- 稲わら、堆肥・糞ガラ等の有機物の施用
- 15cm以上の深耕の実施

◆土づくり資材の10a当たり標準施用量◆

資材名	珪酸質資材				
	スーパーケイサン+	フミンエース	シリカロマン	有機加里入シリカロマン	灰入りスーパーエスアイ加里
施用量	90kg	100kg	100kg	100kg	100kg
特徴	pHの矯正 ケイ酸の補給	pHの矯正 腐植、リン等の補給	pHの矯正 リン等の補給	シリカロマン 有機加里をプラス	pHの矯正 リン酸等の補給

春施用の場合は基肥窒素成分で1kg減肥する

◎上記の中から必要な資材を選んで使用してください

栽培記録

区分	珪酸質資材、肥料名	施用月日	施用量	本田管理(作業開始日)	区分	農薬名	散布月日	散布量	区分	時期	農業名	作業日		散布量
												月日	mℓ/箱	
土づくり	基肥	月日	kg/10a	区分	除草	月日	/10a	/10a	育苗期	種子消毒	月日	月日	mℓ/箱	
	追肥	月日	kg/10a											
	穂肥①	月日	kg/10a											
	穂肥②	月日	kg/10a											
施肥	基肥	月日	kg/10a	区分	農薬名	散布月日	散布量	/10a	本田	月日	月日	/10a		
	追肥	月日	kg/10a											
	穂肥①	月日	kg/10a											
	穂肥②	月日	kg/10a											
随時	随時	月日	kg/10a	随時	農薬名	散布月日	散布量	/10a	随時	月日	月日	/10a		
	随時	月日	kg/10a											
	随時	月日	kg/10a											
	随時	月日	kg/10a											

肥料農薬名は農協の推奨品目です。農薬等は、記載されている使用基準を守って使用しましょう。